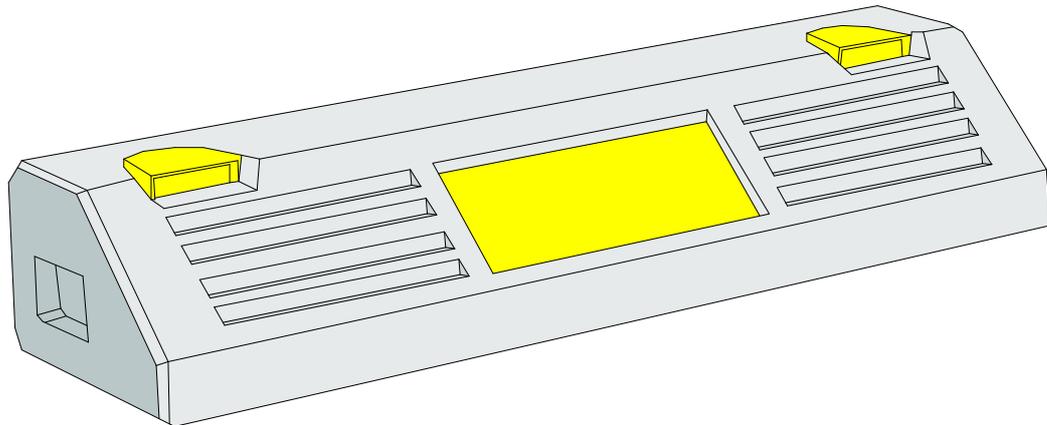


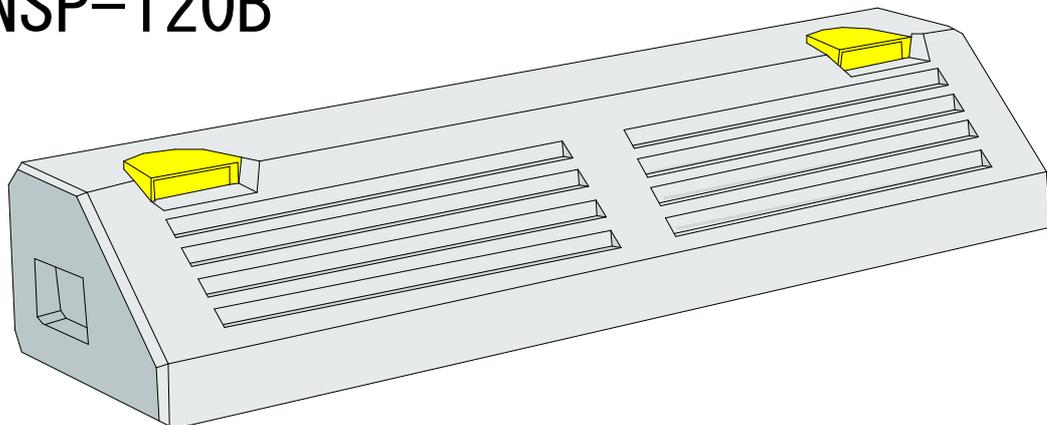
パーキングブロック

- ・ 経済性、施工性に優れている。
- ・ 着脱自在アンカー構造により、除雪作業等における一時的な取り外しも可能
- ・ 特殊アンカー構造によりパーキングブロックが剥がれる心配がありません。

NSP-120A

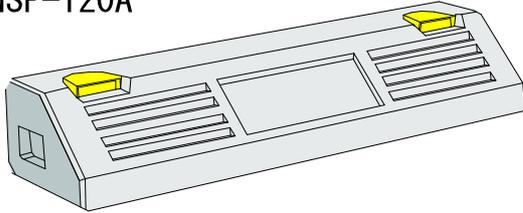


NSP-120B

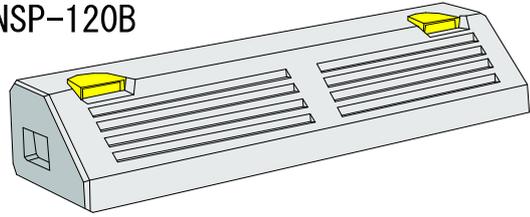


パーキングブロック

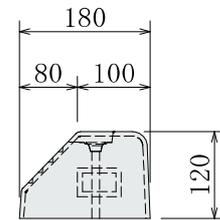
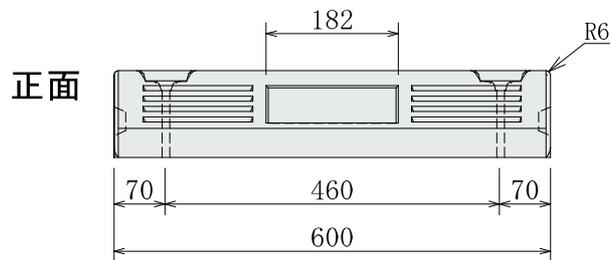
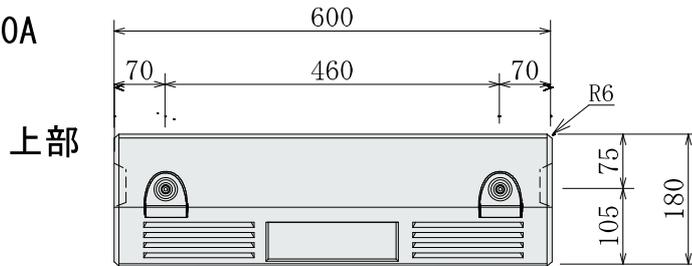
NSP-120A



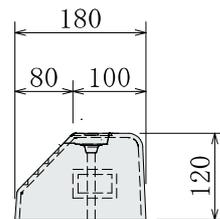
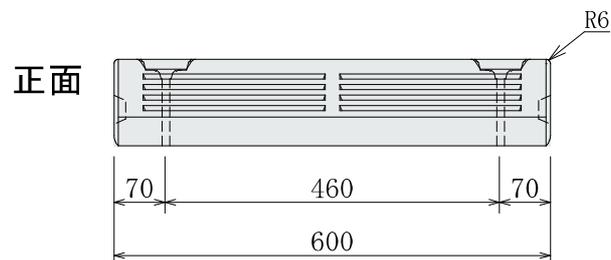
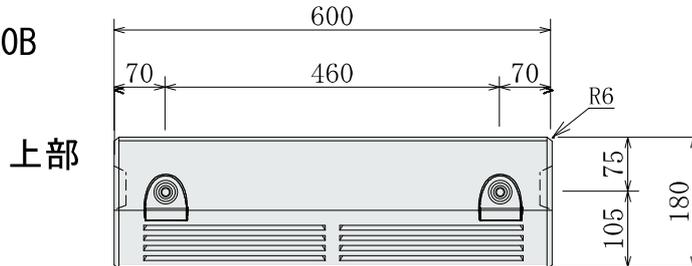
NSP-120B



NSP-120A

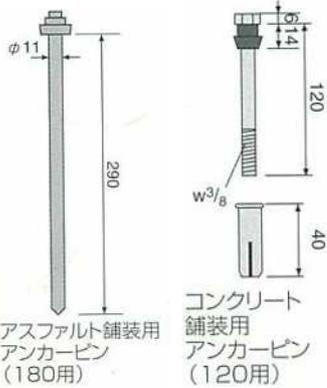


NSP-120B



パーキングブロック

付属品



オプション



設置方法

・アスファルト舗装



No.1

位置決め

No.2

パーキングボンド練混ぜ

No.3

接着面の掃除及び水打ち

No.4

パーキングボンド塗布

No.5

ブロックをセット



No.6

アンカーピンを挿入

No.7

アンカーピンを叩き込み

No.8

ハンマーで叩き込み

No.9

ホルダーの爪がアンカー
頭部にかかるまで打ち込む

No.10

ホールキャップをセット



No.11

Aタイプにシールを張り付ける

①貼り付け面を掃除した後に裏紙をはがし、空気が入らないように押し付けて貼り付けます。
②貼り付け後十分に圧着し、気泡等が入った場合はピンを刺して空気抜きをして下さい。

施工上の注意事項

アスファルト舗装

※アスファルト骨材が粗粒の場合は、アンカーピンの芯スレによりブロック位置がズレる恐れがありますのでφ10以下深さ50mm位の下穴をあけた後にアンカーピンを叩き込んで下さい。

コンクリート舗装

※パーキングボンドを塗布する際は、必ずアンカー付近を避けて塗布して下さい。(ドリル穴あけの際のきり粉上昇とアンカー打込不良防止の為)

※ドリルは必ずφ12を使用し深さ55mm以上穴あけて下さい。
※ドリル穴あけとアンカー打込の作業は必ずブロックの片側ずつ処理して行って下さい。

(両方の穴あけ処理後に、アンカーを打込むと最初に穴あけた穴にドリルの震動できり粉が戻りアンカー打込不良の原因になります。)

・コンクリート舗装

No.1~No.5はアスファルト舗装と共通



No.6 ドリルで穴あけ
φ12深さ55mm以上

No.7 ボルトを挿入

No.8 ボルトの叩き込み
締めしろ2~3mm残す

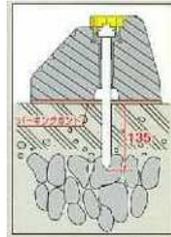
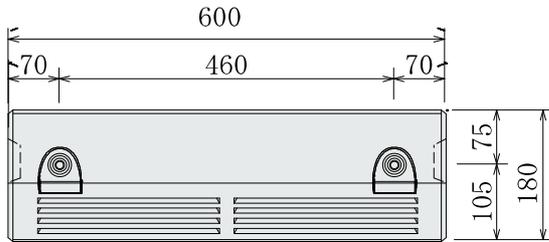
No.9 ボルトの締め込み

No.10 位置決め
ホールキャップをセット

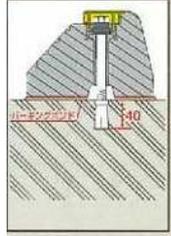
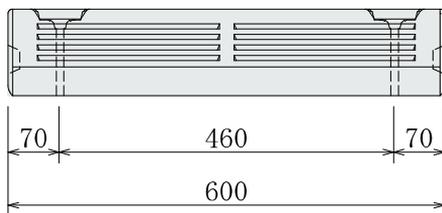
パーキングブロック

固定方法

アスファルト舗装



コンクリート舗装



参考施工歩掛表

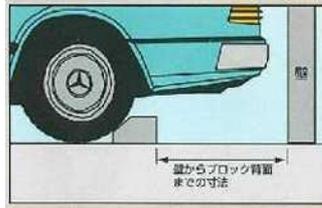
NSP-120H

歩掛表(駐車スペース1台分)

項目	数量
NSP-120A	1本
NSP-120B	1本
パーキングボンド アスファルト舗装用	0.055缶
パーキングボンド コンクリート舗装用	0.035缶
直接作業員	0.05人

NSP-120A, NSP-120B
各1本使用の場合(擬石共通)
※50台分以上の駐車場に適用

壁からブロック背面までの標準寸法

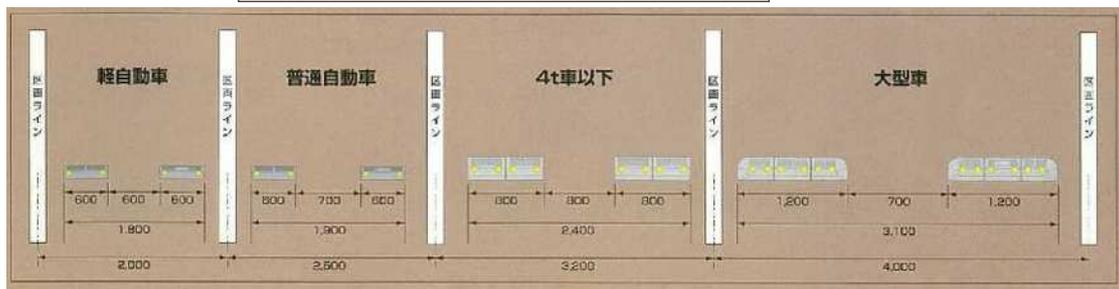


車種別標準設置寸法 (mm)

軽乗用車	300~500
普通乗用車	1,000~1,200
マイクロバス、4以下貨物	1,800~2,000
大型車	3,000~4,000

※上記寸法は標準的な参考数値であり、特殊車種には適用できません。
実際の設置寸法は混雑状況を考慮の上決定願います。

車種別ブロック標準設置例



参考試験データ

曲げ試験



耐圧試験



試験結果

- 材質/コンクリート製
 - 試験値

① 曲げ試験	12.5 (KN)
② 耐圧試験(アスファルト舗装)	33.4 (KN)
③ 耐圧試験(コンクリート舗装)	39.2 (KN)
- (NSP-120用標準固定仕様・パーキングボンド使用)